

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

長生村教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 一松小学校)

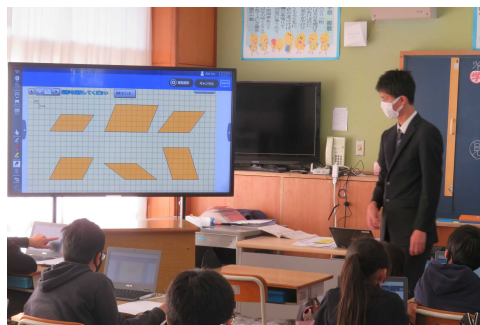
「算数科における ICT の活用」

5年 「面積」 三角形の面積の求め方や、等積変形を使って、平行四辺形の面積の求め方を考える。

- ①「見いだす」場面では、電子黒板に図形を拡大して提示したり、動かしたりして本時の課題をつかむ。⇒児童に着目させたい部分を焦点化させることができる。
- ②「自分で取り組む」場面では、タブレット上で平行四辺形を切ったり、動かしたり、回したりして自力解決につなげる。⇒簡単に図形の変形操作ができるため、多くの考えを導き出すことができる。
- ③「広げ深める」場面では、学習支援ソフトのファイルの保存・共有機能を活用し、お互いの考え方を共有して、比較検討する。
- ④「まとめあげる」場面では、自分の言葉で書いた学習のまとめをタブレット上や電子黒板を通してお互いに共有し、考えを深める。⇒人前で話すことが苦手な児童も意見や考えを出しやすくなる。

メリット

- ・ICT を活用することで、道具を使って切ったり、貼ったりすることが苦手な児童も抵抗なく活動することができ、学習に対する意欲が高まった。
- ・一度に多くの児童の考えを提示し全体で共有できるので、比較検討の時間を十分とることができ、考えが広がった。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：長生村立長生中学校）

【音楽の授業でのタブレット端末の活用】

「校歌の歌詞を覚えよう」（※コロナ禍で声が出しづらい中での新たな方法を模索）

- ①校歌の歌詞をキーボード入力する。入力することで歌詞を覚えていく。
- ②タブレット端末にイヤホンをつなぎ、校歌を聞いて歌詞を覚える。
- ③実際に声に出して歌って歌詞を覚える。
- ④「①」で入力した歌詞に、覚えていない部分や大切な言葉にマーカーで線を引く。
→本時の振り返りと次時見たときに復習できる。
- ⑤「④」のデータを共有のクラウド上に提出する。
→生徒の習熟度を授業者が把握することができる。

メリット

- ・様々な手段で校歌を覚えることができる。
- ・データに残っていると自己評価や振り返り、教員の評価を行うことができる。

